

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-1）①

件名 カスタマーハラスメント対策啓発ポスターの掲示について

課題

カスタマーハラスメントによる影響は、次のとおり考えられます。

- ・職員の業務パフォーマンスの低下や体調不良
- ・対応に伴う時間の浪費、業務上の支障、他の来庁者への悪影響（市イメージ低下）

また、令和元年6月に、労働施策総合推進法等が改正され、職場におけるパワーハラスメント防止のために雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となり、令和2年1月に、「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針」（令和2年厚生労働省告示第5号）が策定され、顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為（カスタマーハラスメント）に関して、事業主は、相談に応じ、適切に対応するための体制の整備や被害者への配慮の取組を行うことが望ましい旨、また、被害を防止するための取組を行うことが有効である旨が定められています。

提案内容

カスタマーハラスメント対策啓発ポスターを庁内に掲示する。
（参考）東海大学医学部附属病院の掲示物
厚生労働省カスタマーハラスメント対策啓発ポスター
高知県、高知労働局カスタマーハラスメント対策啓発ポスター

予想される効果

カスタマーハラスメント件数の減少や要求程度が軽減され、職員の業務効率が上がる。

表彰基準	所見
努力賞	実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-2）①

件名 ウェブメールの宛先欄への課名登録及びWindow機能の有効化について

課題

- ①ウェブメールを他課に転送したい際、他課のメールアドレスをデスクネッツから探し出し、それをコピーツールでコピーして宛先へ追加しているが時間と手間がかかる。
- ②資料作成時など、画面のキャプチャを撮影して貼り付けたい場合に、いちいちSnipping Toolを起動してキャプチャを撮影し、それをコピーして使用しなければならない
- ③デスクネッツの付箋機能は、デスクネッツ表示時しか表示できないなど使い勝手が悪く、デスクトップのメモとして活用しにくい。

提案内容

- ①ウェブメールの宛先欄に課名を入力すれば自動で他課のアドレスが表示されるように設定してほしい。
- ②「Shift」+「Windowsキー」+「S」のショートカットを有効にしてほしい
- ③Windows「付箋」を有効にしてほしい

予想される効果

・業務の効率化

表彰基準	所見
努力賞	一部実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-4）①

件名 通年クールビズの採用

課題

現行は5月1日から10月31日までクールビズ期間として軽装が認められているが、3月や4月に高温となる日も度々あり、庁舎内の室温も高温となることがあるため体温調節が難しいという課題がある。環境省、神奈川県、茅ヶ崎市、秦野市でも通年でのクールビズの導入及びその動きがあることから伊勢原市においても導入は可能と考える。

提案内容

クールビズの期間を5月～10月ではなく、通年とする。

予想される効果

日々の気温に合わせて個々人での体調管理がしやすくなることと、ノーネクタイ等の軽装による業務能率の向上。軽装にすることにより、エアコン等空調運転の時間を縮減することによる省エネが予想される。

表彰基準

所見

努力賞

実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-5）①

件名 他部署の先輩職員とのメンター制度の導入

課題

新たに職員が採用される場合に4月採用であれば同期入庁者も多く相談相手に困らないと思うが、7月採用、10月採用、経験者採用、専門職採用の場合はもともとの同期の人数も少なく配属された部署内では同世代の職員がおらず、周囲に相談しにくい環境も想定される。

提案内容

他部署の先輩職員とのメンター制度を導入し、仕事以外のことも相談しやすい環境を構築する。すでに神戸市では導入されており、同様の制度を取り入れる。

予想される効果

同じ部署では気を遣ってしまい相談しにくいことも、他部署の職員であれば仕事はもとより、プライベートのことも相談することで精神的な負担を和らげることができる。

表彰基準	所見
努力賞	将来的検討

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-6）①

件名 バラエティに富んだ内容の市公式YouTube動画の作成について

課題

伊勢原市の公式Youtubeが開設されているが、更新頻度は多くなく、また再生回数も大きく伸びてはいないのが現状である。自治体のオフィシャルアカウントでは、真面目な内容を投稿することはもちろん大切であると思うが、そこに重点を置いてしまうとなかなか視聴者の関心は得られない。

提案内容

堅いテーマ以外の内容の動画の投稿を行う。例えば、長野県千曲市役所の運営するYoutubeサイトでは、伊勢原市よりも人口規模や登録者数も少ないが、公務員あるあるといった変わった視点からの発信により約1年間で10万回以上の再生回数を記録している。

予想される効果

どうしても自治体同士で似たり寄ったりになってしまいがちな内容から抜け出すことで、市の情報発信力を高めることができる。

表彰基準	所見
努力賞	実施に向け更に要検討

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-8）①

件名 手書きのクルリンの作成について

課題

現在、市の公式ホームページや市民への郵送物や案内資料に公式イメージキャラクターのクルリンを掲載する際は、様々な種類のクルリンが広報戦略課によって用意されているがいずれもデジタル様式のものである。これを、例えば職員が手書きで描いたクルリンも用意すればそれぞれの個性や趣も感じられる。

提案内容

各所属で掲載するクルリンのバリエーションに職員が手書きで描いたクルリンも追加して使用できるようにする。広報戦略課職員のほか、描いてくれる職員を全庁的に募集する。

予想される効果

それぞれの職員の個性が引き出される他、このような形を取り入れることにより、見る人の興味を引きつけることにもつながる。

表彰基準

所見

努力賞

実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-10）①

件名 市が所管する審議会、協議会の議事録の整理

課題

市が所管もしくは担当課となっている審議会、審査会、協議会がおよそ60弱あり、会議録の作成ありとなっているものも多いが、会議実施後に速やかに作成及び公開されている審議会等と長期間会議録が更新されていない審議会等が混在している。また、担当課で会議録を作成、更新していない場合にその進捗をチェックする方法が現在は確立されていない。

提案内容

経営企画課または各部ごとに、文書法制課が実施しているファイリングのように年単位で進捗状況のチェックを行う。なお、協議会の数がとても多いため経営企画課のみでの実施が困難である場合は、例えば総務部の各部署が担当している協議会の分は総務部内の任意の課がチェックを行い、市民生活部の各部署が担当している協議会の分は市民生活部内の任意の課が行うというような方法をとれば、業務自体の負担は分散可能。

予想される効果

会議を実施した後の会議録作成漏れの防止、会議録を迅速に公開することにより市民に対してタイムラグなく情報提供が行われる。

表彰基準

所見

努力賞

一部実施すべき

令和6年度職員提案個別票（受付番号：令和6-21）①

件名 災害時の公共施設の閉館基準の設定について

課題

近年の気候変動に伴い、「勢力を増す台風」「ゲリラ雷雨の頻発化」など、激しい気象現象が増加している感があります。一方、台風接近に伴う暴風警報など、激しい気象現象が予想され、内閣府防災担当や気象庁が「不要不急の外出の自粛」を呼びかけても、市の公共施設の中には開館を継続し、市民は通常どおり利用しており、閉館の基準が不明確です。

このような状況下で気象災害が発生した場合、施設利用者や従事する職員の安全確保が困難になることも想定されます。また、開館を継続することは、不要不急の外出の受け皿になっている場合もあります。

提案内容

災害時における公共施設の閉館基準を設定します。なお、趣味やレクリエーションを目的とした施設を、対象とします。

具体的には、気象庁の警戒レベルに合わせて、閉館基準を定めます。

(1) 警戒レベル3発令(高齢者等避難)

高齢者施設(阿夫利荘)、障がい者施設(障害福祉センター、児童発達支援センター)

子どもの施設(子ども科学館、児童館)

(2) 警戒レベル4発令(避難指示)

図書館、公民館、コミュニティセンター、スポーツ施設等

(避難所となっている施設は、防災機能へと切替)

予想される効果

気象災害が発生した際に、多くの施設利用者が滞在するリスクは減少します。

市民に対し、災害時は不要不急の外出を控えることへの意識付けにつながります。

表彰基準	所見
努力賞	将来的検討

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-26）

件名 次期財務会計システムに決算資料を出力できるようなカスタマイズ機能の追加

課題

近年、議会への決算委員会資料に修正が発生し、執行部と議会との信頼関係を損なう事態になっている。確認不足の面があることは間違いないとして、本提案では別の角度から提案したい。当該委員会資料は、主に手作業で作成されており、それが度重なる確認作業を発生させていることは間違いない。委員会資料を作る前に、各所属では各所属での決算手持ち資料を作成している所属も多いと思うが、この作業も基本的にはエクセルを1つ1つ入力していく作業である。令和7年度途中から導入予定の次期財務会計システムは、既に相手方業者も決定し、業者との契約も済んでいると思われるが、カスタマイズ費用は5年間で数百万円程度と聞いている。ICT化の推進、時間外勤務の削減、働きやすい職場づくりなど、様々な面で市役所の労働環境の改善に寄与し、議会との信頼関係も改善されるのであれば、安いものではないか。

提案内容

- ・財政課は、次期財務会計システムの受託事業者と決算資料を出力できるカスタマイズ化の契約変更を行うこと。
- ・委員会資料の様式について、文書法制課が主体となって議会側と協議を進めること。
- ・カスタマイズ化にあたり、技術的な側面からデジタル推進課が財政課を支援すること。

予想される効果

システムでできることはシステムに任せ、職員にしかできない業務を職員にやらせる。ミスが発生しづらい労働環境を行わないと、優秀な職員がどんどん辞めてしまいます。

表彰基準	所見
努力賞	実施に向け更に要検討

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-32）

件名 庁内の窓口受付時間の短縮について

課題

- ・窓口業務が多い部署では、職員がその対応に追われ、時間外勤務が慢性化しています。
- ・財政事情が厳しく、経費の縮減が求められているなか、時間外勤務手当への削減を進めるために、窓口体制の構造的な改善が必要です。

提案内容

市役所の窓口の受付時間を午前9時から午後4時30分までとし、現行の窓口時間から前後30分、合計1時間の短縮を図ります。

予想される効果

- ・今後、人手不足による職員採用が厳しさを増すなか、働きやすい環境をつくろうとする市の姿勢をアピールすることができ、人材確保につながられます。
- ・始業の準備、終業後の後片付け、受付した申請等の事務処理に充当することができ、時間外勤務手当を削減することができます。

表彰基準	所見
努力賞	実施に向け更に要検討

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-33）

件名 庁内ルールの見える化

課題

これまで「職員としてのサービス」や「庁舎管理」などに関する庁内通知（ローカルルール）が発出されているが、①継続しているが時間経過によりその存在が忘れられているもの、②目的が達成され廃止されたものなどが判別しにくいものとなっており、職場内研修（OJT）に生かされていないことがある。

ルールがあるのに“なし崩し”になっていないか、ルールを“無視して良い”、“知らないから仕方ない”という思いが蔓延すると、一般事務のミスにも繋がりがねない。

継続しているもの、廃止となったものを明確にしておく必要がある。

例）庁舎出入口（正面玄関の利用制約、爆破予告が頻繁した際には外部侵入を防ぐためレストラン棟外階段や内階段を一方通行としていた）、エレベーター利用制約、喫煙ルール（回数制限）、新型コロナに関するもの（換気、行動記録ほか）

提案内容

庁内通知（ローカルルール）をリスト化し、デスクネット「文書管理」または「全庁共有フォルダ」に掲載し、いつでも確認することができるようにする。

リストには項目のほか、発出日、更新日、廃止日、ショートカットなどを記載し、所管課が随時更新する。

予想される効果

伊勢原市役所ローカルルールを周知徹底し、職場研修や自己研鑽により、職員資質の向上と市民サービスの向上に寄与できる。

表彰基準	所見
努力賞	一部実施すべき

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-35）

件名 市役所1階フロアに音楽を流す

課題

市民対応窓口では、業務繁忙期に市民を長時間お待たせすることや職員による対応の不備などにより、陰湿な雰囲気になる場面があり、職員と市民の双方がストレスを感じることがある。

提案内容

庁内の陰湿な雰囲気を緩和するために、一部のデパートやスーパーなどで流れているように、モーツァルトが作曲したような落ち着いたクラシック音楽を、午前と午後1時間ずつ1階フロアに流すことを提案します。

予想される効果

クラシック音楽の効果によって、職員と市民の双方のストレスがわずかでも緩和されることで、市民対応窓口の陰湿な雰囲気が和らぐと考えます。

表彰基準	所見
努力賞	実施すべき

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-37）

件名 伊勢原市職員共通のQRコード付き名刺(デザイン)を配布

課題

現状：名刺が必要な職員が、必要な時に実費で作成・発注等している。各自の好みや予算等でまかなっている。
 課題：名刺代を職員が負担し、必要であっても持っていない職員もいるのではと感じる。名刺を配るのを省略していることが多いのではないか。

提案内容

伊勢原市職員が仕事で名刺を利用する場合、名刺を無償配布するとともに、共通のデザインの名刺を作成し、そのデザインの中に市のQRコードを載せ、市の魅力を載せた内容に飛ぶように設定する。
 ※個人向けふるさと納税・法人向けふるさと納税のおすすめページに飛べるようにするなど。Instagramのリンクも併せて載せておくとフォロワー数が増える可能性もある。
 市内の個人・法人や、市外の個人・法人に向け幅広く知ってもらえるような内容にする。職員には率先して新規の方への配布をすることで、伊勢原市の顔となる名刺を配ってもらう。

予想される効果

伊勢原市職員が仕事で名刺を利用する場合、名刺を無償配布するとともに、共通のデザインの名刺を作成し、そのデザインの中に市のQRコードを載せ、市の魅力を載せた内容に飛ぶように設定する。
 ※個人向けふるさと納税・法人向けふるさと納税のおすすめページに飛べるようにするなど。Instagramのリンクも併せて載せておくとフォロワー数が増える可能性もある。
 市内の個人・法人や、市外の個人・法人に向け幅広く知ってもらえるような内容にする。職員には率先して新規の方への配布をすることで、伊勢原市の顔となる名刺を配ってもらう。

表彰基準	所見
努力賞	一部実施すべき

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-38）

件名 ポイントの利活用

課題

例えば、各所管で携帯電話通信契約をしている場合、毎月の支払いの納付書の明細にポイントが付与されていることが散見される。ポイント制度は近年、キャッシュレス化の進展と普及により、より一層活用されるようになってきている。多くの人々はポイントを蓄積し、日用品の購入やサービスの支払いに賢く利用することで、日常生活の費用負担を軽減している。そして、このポイントは市の支払いに対しても同様に発生していることがある。

提案内容

各所管の支払いにてポイントがすでに得られている、又は何か申請等をすればポイントがつくものを全庁的に調査し、「ポイ活」を推進して何か役立つことに利活用していく。市の各部署で発生する支払いに伴って付与されるポイントを一元管理し、効率的に活用することで、市の財政に有益な影響を与えることができる。たとえば、通信料金ポイントの他にも、物品購入や支払い時に付与されるポイントも含めて、これらを集約して管理すれば、市の備品や消耗品の購入、新しいプロジェクトの費用など、さまざまな用途に充てることが可能だと考える。

予想される効果

総じて、市の支払いに伴って発生するポイントが無駄にせず、効果的に活用することにより、市の財政に利益をもたらし、市民へのサービス向上にも繋がるのが期待される。④市内外の人が、市内の生産品の見本を見ることで、今まで知らなかった伊勢原を意識させ、より伊勢原市に興味を持っていただくきっかけになる。

表彰基準	所見
努力賞	実施に向け更に要検討

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-41）

件名 市作成の郵送用封筒に市公式ホームページのQRコードを掲載する

課題

現在は文書法制課にて作成している全庁共用の緑色の郵送用封筒について、市公式ホームページのURLは記載されているが、これをもとにURLをスマートフォンやパソコンに手入力することを求めるのは時代になじまないと考える。

提案内容

封筒の表面に市公式ホームページへのQRコードを掲載して読み込むことができるようにする。

予想される効果

市公式ホームページへのアクセス数の増加。従来と比較して市民の操作に掛かる手間と手順の簡略化。

表彰基準

所見

努力賞

実施すべき

令和6年度第2回職員提案個別票（受付番号：令和6-51）

件名 保育所等入所関連業務の効率化【改善報告】

課題

改善報告のため、省略

提案内容

保育所の入所申請書類等を紙で受領し、その情報をAcrocity福祉総合システムへ入力する作業について、これまではすべて職員の手作業で行っているが、AI-OCRで申請書類等の情報を電子化し、RPAで入力作業を自動化することで効率化する。
また、保育所等との入所調整連絡において、これまでは保育所等から報告があった入所可能児童数を手作業で管理用Excelファイルに入力したり、当該Excelファイルを各保育所別に作成し直したりしているが、マクロを活用して自動処理とすることで効率化する。

予想される効果

11月からの繁忙期において受け付けた500件のうち、350件(7割)を自動化することができ、約350分の作業時間削減となった。1件あたり1分ほどの短縮だが、約350件分を入力する労力を考慮すれば、効果の高い改善であったと受け止めている。
保育園との入所調整連絡にかかる一連の作業では、1月に1回の作業あたり、約1時間の削減効果をあげられた。

表彰基準	所見
努力賞	-